

事務事業名 登別市連合町内会助成事業

区分	No	名称
章	6	担いあうまちづくり
節	1	協働のまちづくりの推進
施策	2	まちづくり活動の推進
小分類	1	多彩なまちづくり活動の支援
主要な施策	2	コミュニティ・活動の支援
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 8 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	市民サービスグループ
-----	-------	-------	------------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	単位町内会などの意見・意思を集約する連合町内会の安定的な運営、活動の資金を支援することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	単位町内会及び11地区の連合町内会を取りまとめる統括組織として、次の各種事業にかかる活動資金を助成金として支給した。 連合町内会の加入率 約99% (94単位町内会のうち93町内会が加入) 助成金の額 2,400,000円 (毎年度、予算の範囲内にて決定する。) 各種事業の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・各種会議の開催 (定期総会、三役会、役員会、各種事業部会、理事者等意見交換会) ・道町連共済保険の加入 (町内会役員等) ・地区懇談会の開催 ・毎月2回、各種回覧板を単位町内会に配布 ・各種団体主催の行事等への参加 ・花いっぱい運動・クリーン作戦の実施 ・防災・防犯及び交通安全の啓発運動の推進 など
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	今後においても、市民と行政の協働による、住みよいまちづくりを推進するため、連合町内会の活動を支援する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費 (財源内訳) の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
事業費 合計			2,400	2,400	2,400	2,400	2,400

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果指標	役員会等の開催数 (総会、三役会、役員会、事業部会、各種意見交換会)	回	目標値	55	45	45	45	45
			実績値	41	45			
	町内会役員等の研修参加数	人	目標値	350	350	350	350	350
			実績値	345	345			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
町内会加入世帯が減少していることにより、単位町内会及び連合町内会等の活動に支障が生じている。	町内会等は任意加入のため加入の義務はなく、市が加入を強制することができないことから、連合町内会が行う加入促進活動を支援する。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 連合町内会は、市民との「協働」を目指す市にとっては非常に重要なパートナーで、市民参加の呼びかけや情報提供など様々な面において行政の橋渡し役を担っているため、登別市連合町内会を支援することは妥当である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 市民と行政の協働による、住みよいまちづくりを推進するために必要である。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 登別市連合町内会が円滑で健全な発展を図るためには、最低限のコストである。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 単位町内会及び11地区連合町内会と市の連携が円滑に行われている。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	単位町内会及び11地区連合町内会の統括組織である連合町内会の存在は、市民との「協働」を目指す市にとっては絶対的なパートナーのため、現行レベルの支援を継続することが必要である。
----	----------------------	---

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
----	----